

# 経営統合に向けた協議開始について

2015年3月10日(火)

あなたと、コンビに、

**FamilyMart**

株式会社ファミリーマート

代表取締役社長

中山 勇



U G H D

ユニーグループ・ホールディングス株式会社

代表取締役社長

佐古 則男

# 事業環境

## 国内小売事業

- 総人口の減少による市場規模の縮小
- CVSの出店競争
- 異業態との競争激化
- 利便性や差別化された商品を志向する消費者の増加
- 新たな発想による事業機会の発生

## 海外小売事業

- 日本で発展したCVS業態の着実な浸透

両社の経営資源を結集し、新たな小売グループを形成することが必要

# 経営統合の意義

両社の経営資源を結集し、お客様、フランチャイズ・オーナー、お取引先、株主、従業員に貢献できる企業となる

## CVS事業

- 国内最大規模の店舗網
- 商品調達力の強化
- 商品開発部隊の強化
- 物流センター等のインフラや情報システム等の共通機能の集約

## 総合小売事業

- 東海・関東圏を中心とした事業拡大
- CVS事業の調達力・サービスの活用
- 新しい店舗フォーマットの開発
- イーコマースの協業

金融サービス・カード、専門店、ネット通販・イーコマース、医療・介護、チケット・エンタメ、食品宅配、食品製造等

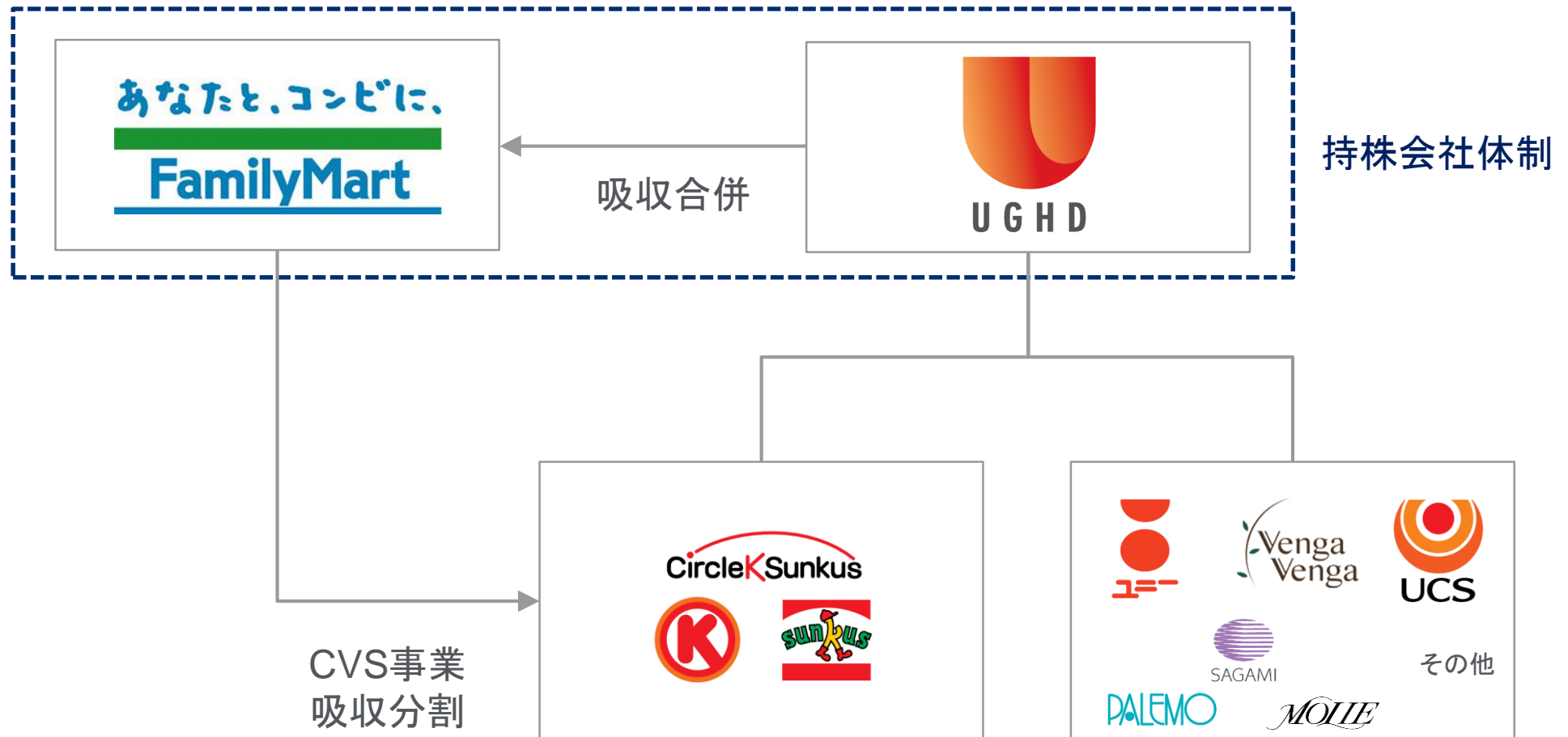
- より大きなグループ経営資源を投入して、グループとしての更なる事業基盤の活用、価値最大化

# 統合に向けた検討

- 対等の精神での経営統合
- 両社長を共同委員長とする「統合検討委員会」の設置
- 主要検討事項
  - 企業理念
  - 新会社・グループの社名、ブランドの取り扱い
  - 取締役会の構成、経営陣
  - 組織・人事体制
  - 各事業の事業方針・計画

# 統合ストラクチャー

- ファミリーマートとユニーグループHDが合併し、持株会社化
- CVS事業はファミリーマートとCKSが統合。CVS事業のブランドは一本化を軸に検討
- 合併比率を含めた詳細は、デュー・ディリジェンスを踏まえ今後専門家を交えて検討



# 日程(予定)

取締役会決議 2015年3月10日(本日)

---

覚書締結 2015年3月10日(本日)

---

基本合意書締結 2015年8月(予定)

---

吸収合併契約・吸収分割契約締結 2016年4月(予定)

---

吸収合併契約・吸収分割契約承認  
両社定時株主総会開催 2016年5月(予定)

---

吸収合併・吸収分割効力発生日  
経営統合 2016年9月(予定)

# (参考) 売上高約3.5兆円の小売グループが誕生

		ファミリーマート	ユニー グループHD	合計
<b>連結</b>	全店売上高	17,219億円	18,342億円	35,562億円
	営業利益	433億円	253億円	686億円
<b>CVS</b>	全店売上高	17,219億円	9,506億円	26,725億円
	営業利益	433億円	109億円	542億円
	国内店舗数	11,271店	6,328店	17,599店
	海外店舗数	5,625店	1,043店	6,668店
<b>GMS / SM</b>	売上高	- 億円	7,999億円	7,999億円
	営業利益	- 億円	122億円	122億円
	国内店舗数	- 店	318店	318店
	海外店舗数	- 店	4店	4店

注：経営数値：2014年2月期

店舗数：2015年1月末。ユニーグループHDのCVS海外店舗数：2014年10月末(サークルKアジア傘下店舗数)

# (参考)両社の事業領域

あなたと、コンビニに、

**FamilyMart**

コンビニエンスストア(CVS)

あなたと、コンビニに、

**FamilyMart**

クレジットカード

宅配配食サービス

EC関連



UGHD

総合小売

コンビニエンスストア(CVS)



専門店

サービス

金融サービス



食料品製造

フードサービス

ディベロッパー



都市型ミニスーパー

海外

関連会社





「日本を代表する小売グループ」を目指す

あなたと、コンビニに、

**FamilyMart**



**U G H D**